

風里/風の街

風里は開設6年目を迎えます。

最近のご近所の方々にも笑顔で声を掛けていただく事も増えてきました。地域に受け入れられてきたと感じます。風里市や、散策中での挨拶を行ってきた成果だと思えます。

昨秋より風里敷地内で野菜の無人販売を始めました。近所の方々が散歩ついでに覗いてくださったり、通りすがりの車から気付いて購入してくださったりと、直接的ではありませんが地域の方々と交流ができています。

利用者さんが他施設・他事業所を利用する機会も増えてきました。緊急時の預かり先・親なき後の受け入れ先の検討を引き続き勧めていきたいと思えます。

1. 支援体制

朝夕のオンラインミーティングでスタッフ間の情報共有を図り、スタッフ誰もが、どの利用者さんでも支援が出来る体制を強化していきます。

〈風里〉

2つのユニットグループを作り、週毎に1F・2Fを入れ替わり支援を行います。

夕方にはサビ管・各ユニットリーダーとで細かな変更点等のすり合わせを行い、常に情報共有に努めます。

〈風の街〉

常勤スタッフと日替わり男性スタッフとで連携を図り、安定した支援の組み立てを行います。

2. 関係性作り

【保護者】

支援を行ううえで、ご家庭との連携は大切です。日頃よりコミュニケーションを大事にし、信頼関係の構築に努めます。お互いが話しやすい環境づくりに配慮します。

【他施設・他事業所】

利用者さんが他施設・他事業所を利用することが増えてきました。風里のサポートブックや日頃の様子をお伝えし、スムーズに利用が始められるよう協力をします。問題が発生した場合も関係者を集め早期に対策を検討致します。

【スタッフ】

スタッフ不足でのスタートとなります。今まで以上にコミュニケーションを図り、必要な時に相談できる関係性を築くよう努めます。「挨拶と感謝」を忘れず、雰囲気の良い職場づくりを心掛けます。

(文責：片山志保)